

## (仮称) 小牧市農業公園整備基本構想 (概要版)

本「基本構想」は、検討委員会において、現地や県内他市の農業関連施設の視察を実施した折の委員意見や市民アンケートの結果を受け、農業への关心や営農意欲を育む農業関連施設の必要性を考慮した結果、事業用地の利活用について、基本理念である「食育と環境」を念頭に土地利用や管理運営などの基本構想の再構築を進め、策定したものです。

### 《事業コンセプト》

#### (1) 基本理念 (テーマ) 「食育と環境～農と里山の恵み・ふれあい～」

対象	子どもや高齢者の方々を含めた全ての世代の市民
目標	次の2面の方向から、農業振興の発信の場を目指す。 (食育の面から) 身近な農業を通じた食の大切さを理解する場。 (環境の面から) 里山を活かし自然環境とのふれあいの場。

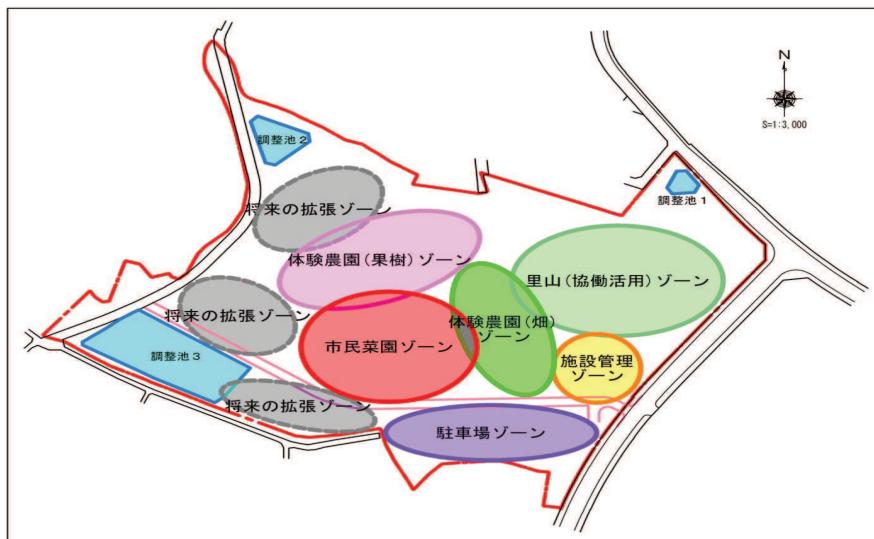
#### (2) 基本方針 (キーワード) 「体験」、「交流」、「育成」

体験	一定期間畠を貸し出し農作業を営む「市民農園」や収穫する楽しさを体験する「収穫体験農園」ができる場の提供。
交流	市民や生産者が、農業を通じてふれあい、生きがいを感じる場の提供。
育成	地域に根付いた担い手が育成・確保されるよう、農業・農作業の知識等を提供できる場(教室)の提供。

### ○土地利用の考え方

農業公園全体を、農作業を通して身近な農業に触れることができる「市民菜園ゾーン」、農業と食べ物のつながりを農業体験等を通して伝える場となる「体験農園(畠)ゾーン」及び「体験農園(果樹)ゾーン」、里山の散策をしながら自然環境とふれあう場である「里山(協働活用)ゾーン」、そして管理棟や農作業具置場などを設置する「施設管理ゾーン」の、5つのゾーンに区分し、その他の部分は、「駐車場ゾーン」や、利用に応じて将来的に拡張することを考える「将来の拡張ゾーン」とします。

## (ゾーニング図)



(市民菜園ゾーン)



(体験農園(畑)ゾーン)



(体験農園(果樹)ゾーン)



(里山(協働活用)ゾーン)



## ○概算事業費 425,000 千円

(内訳)造成開発区域の整備費(将来の拡張ゾーンを含む。)約 6ha 305,000 千円

建築物等 (管理棟他一式) 120,000 千円

※概算事業費については、他の施設の事例を参考に算出したものです。

## ○今後のスケジュール(予定) 令和 6 年 10 月供用開始(一部)

平成 30 年度～令和 6 年度 基本計画、地質調査、基本設計、実施設計、造成工事  
管理運営体制の検討等